

OpenOLAP 管理者マニュアル

R 1.2.0

2004 年 10 月



OpenOLAP 管理者マニュアル

R 1.2.0

商標

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

なお、本文中には TM、® マークは明記していません。

目次

1 OpenOLAP Viewer の概要	1
1.1 OpenOLAP Viewer の機能	2
1.1.1 レポートの作成	2
1.1.2 レポートの閲覧	2
1.1.3 フォルダ、レポートの管理	3
1.1.4 ユーザー、グループの管理	3
1.2 OpenOLAP Viewer の画面構成	4
1.2.1 OpenOLAP Viewer の画面構成	4
1.2.2 ツールバー	4
1.2.3 ビュー	6
1.2.4 使用できない文字列	6
2 起動と終了	7
2.1 OpenOLAP Viewer へのログイン	8
2.2 OpenOLAP Viewer からのログアウト	9
3 レポートの作成	11
3.1 レポート作成ウィザード	12
3.2 ステップ1：キューブの指定	12
3.3 ステップ2：レポートの設定	14
3.4 ステップ3：レポート名、フォルダの指定	16
3.5 レポート内容の変更	18
4 フォルダ・レポートの管理	19
4.1 フォルダ・レポート管理の画面構成	20
4.2 フォルダの管理	21
4.2.1 フォルダの作成	21
4.2.2 フォルダ名の変更	22
4.2.3 フォルダの移動	22
4.2.4 フォルダの削除	23
4.3 レポートの管理	24
4.3.1 レポート名の変更	24
4.3.2 レポートの移動	25
4.3.3 レポートの削除	26
5 ユーザー、グループの管理	29
5.1 ユーザーの管理	30
5.1.1 ユーザーの種類	30
5.1.2 ユーザーの作成	30
5.1.3 ユーザー情報の変更	32

5.1.4 ユーザーの削除	32
5.2 グループの管理	33
5.2.1 グループの作成	33
5.2.2 グループ情報の変更	34
5.2.3 グループの削除	35
6 権限設定	37
6.1 権限の設定	38

OpenOLAP Viewer の概要

OpenOLAP Viewer は OpenOLAP Designer で生成されたキューブを対象とした強力なレポートングツールです。ビジネスインテリジェンスを導き出すまでの過程、多次元データ分析やデータ検索を OpenOLAP Viewer は強力にバックアップします。この章では、OpenOLAP Viewer の機能と画面構成をご紹介します。

この章は以下のとおり構成されています。

- [OpenOLAP Viewer の機能](#)
- [OpenOLAP Viewer の画面構成](#)

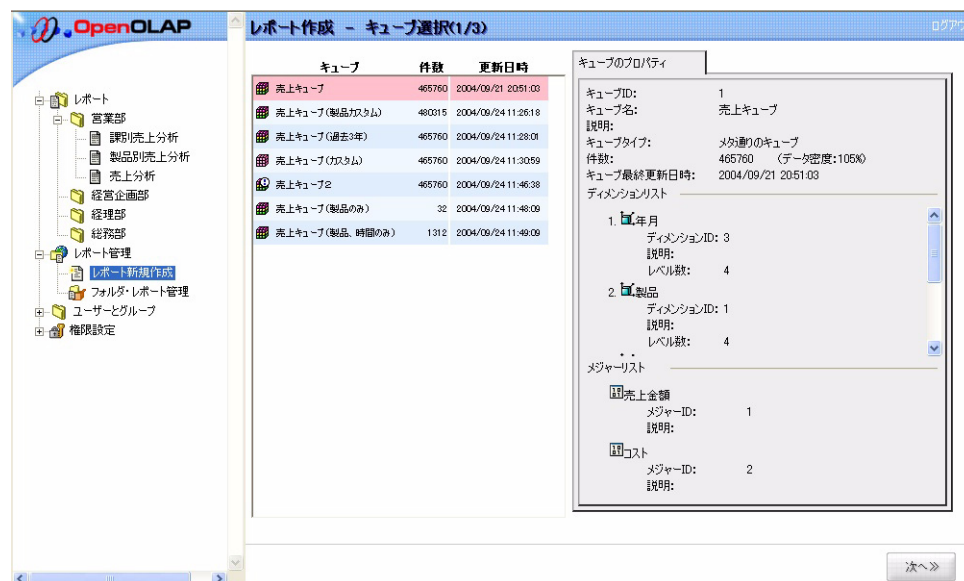
1.1 OpenOLAP Viewer の機能

OpenOLAP Viewer はインターネットブラウザを用意だけで、エンドユーザーは多次元データベースの分析レポートを閲覧することができます。

OpenOLAP Viewer の主な機能は以下のとおりです。

1.1.1 レポートの作成

OpenOLAP Designer で生成されたキューブを元にして、管理者はクロステーブル形式のレポートやグラフを作成できます。



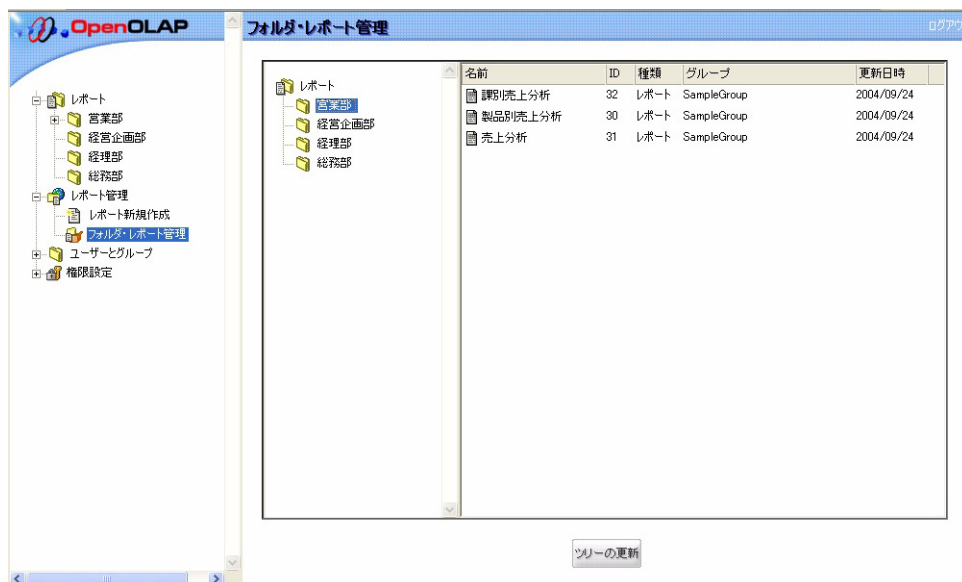
1.1.2 レポートの閲覧

管理者が作成したレポートを一般ユーザーとゲストはブラウザから閲覧することができます。また、管理者は既存のレポートの設定を変更して保存することができます。さらに一般ユーザーは管理者が作成したレポートを修正して個人レポートとして保存することができます。

製品	02年度	04月	05月	06月	07月	08月
製品合計	¥ 475,140,073	¥ 31,178,064	¥ 25,321,410	¥ 21,099,616	¥ 45,569,659	¥ 43,998,428
ハードウェア	¥ 443,721,682	¥ 29,331,291	¥ 23,714,001	¥ 19,652,533	¥ 42,708,931	¥ 41,129,798
メモリー	¥ 15,299,144	¥ 988,276	¥ 776,337	¥ 695,996	¥ 1,294,624	¥ 1,484,296
ノートPC	¥ 188,871,996	¥ 12,260,940	¥ 9,506,687	¥ 7,494,703	¥ 18,647,784	¥ 19,603,426
デスクトップPC	¥ 209,585,576	¥ 14,291,601	¥ 11,655,905	¥ 9,948,855	¥ 20,048,918	¥ 17,366,669
モニター	¥ 15,901,610	¥ 868,386	¥ 918,418	¥ 807,274	¥ 1,479,079	¥ 1,537,584
モデム/FAX	¥ 14,063,356	¥ 922,089	¥ 856,654	¥ 705,705	¥ 1,238,526	¥ 1,137,823
ソフトウェア+その他	¥ 31,418,391	¥ 1,846,773	¥ 1,607,409	¥ 1,447,083	¥ 2,860,728	¥ 2,868,630
OS	¥ 11,157,772	¥ 667,798	¥ 646,020	¥ 547,905	¥ 1,054,375	¥ 1,054,184
アクセサリ	¥ 20,260,619	¥ 1,178,975	¥ 961,389	¥ 899,178	¥ 1,806,353	¥ 1,814,446

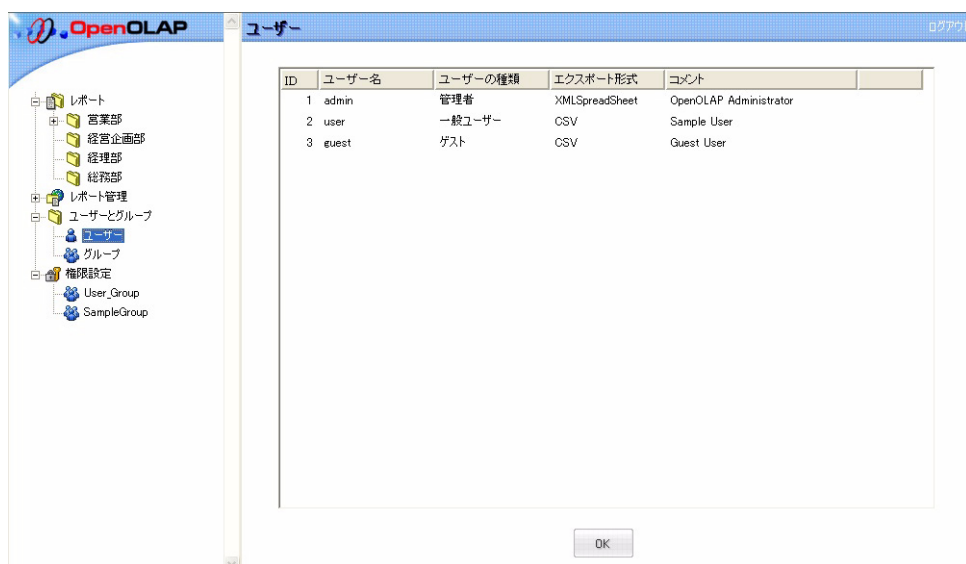
1.1.3 フォルダ、レポートの管理

管理者は、レポート検索を効率的にするフォルダを作成したり、レポートをフォルダに割り当て直すなど、エクスプローラ風の操作でフォルダとレポートを管理することができます。



1.1.4 ユーザー、グループの管理

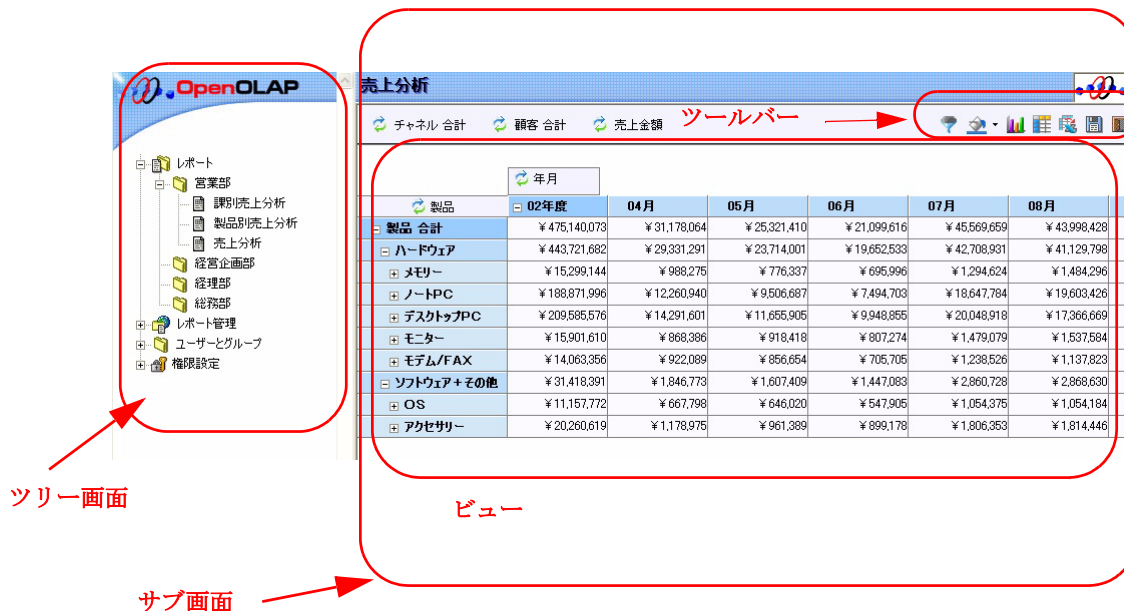
管理者は、OpenOLAP Viewer を使用するユーザーやグループを作成し、レポート参照権限やエクスポート権限などを自由に設定、管理することができます。



1.2 OpenOLAP Viewer の画面構成

1.2.1 OpenOLAP Viewer の画面構成

OpenOLAP Viewer の各個所の名称は以下のとおりです。




ツリー画面	レポートや管理メニューを選択することができます。
サブ画面	レポートやレポート新規作成、フォルダ管理などの画面を表示します。
ツールバー	レポート画面で表示されます。レポートに対して実行できるボタンです。
ビュー	レポートを表示します。

1.2.2 ツールバー

OpenOLAP にはデータの選択や色設定のためのツールバーが用意されています。



アイコン	ボタン名	説明
	セレクト	ディメンションやメジャーの値からレポートに表示する項目を選択することができます。
	塗りつぶし	レポートのセルの背景色を指定することができます。
	ハイライト	レポートのセルの背景色を条件にしたがってハイライト指定することができます。

アイコン	ボタン名	説明
	カラー選択	レポートのセルに対して「塗りつぶし」か「ハイライト」のどちらを利用するのか選択します。
	グラフの種類	グラフ表示をしているとき、グラフの種類を指定することができます。
	画面表示	データの表示形式を「表」「グラフ」「表・グラフ」のいずれかに変更することができます。
	エクスポート (CSV)	レポートを CSV 形式でエクスポートすることができます。管理者が XML Spreadsheet 形式を指定している場合は非表示となります。
	エクスポート (XML Spreadsheet 形式)	レポートを XML Spreadsheet 形式でエクスポートすることができます。管理者が CSV 形式を指定している場合は非表示となります。
	保存	参照レポートのディメンション、メジャーのレイアウト変更やセルの塗りつぶし設定、セレクト設定などの変更を保存することができます。 * 一般ユーザー、ゲストの場合は個人レポートの保存となります。
	ログアウト	OpenOLAP Viewer からログアウトします。

1.2.3 ビュー

ビューの各箇所名称は以下のとおりです。

顧客 合計 価格 合計 売上金額			年月				
製品	02年度	04月	05月	06月	07月		
製品 合計	¥ 357,633,646	¥ 22,725,933	¥ 19,102,120	¥ 15,392,809	¥ 34,301,120		
ハードウェア	¥ 326,215,255	¥ 20,879,160	¥ 17,494,711	¥ 13,945,726	¥ 31,801,120		
メモリー	¥ 15,299,144	¥ 988,275	¥ 776,337	¥ 695,996	¥ 1,201,120		
ノートPC	¥ 154,664,303	¥ 10,014,920	¥ 8,180,983	¥ 5,966,991	¥ 15,901,120		
デスクトップPC	¥ 126,286,842	¥ 8,085,490	¥ 6,762,319	¥ 5,769,760	¥ 11,401,120		
モニター	¥ 15,901,610	¥ 868,386	¥ 918,418	¥ 807,274	¥ 1,401,120		
モデム/FAX	¥ 14,063,356	¥ 922,089	¥ 856,654	¥ 705,705	¥ 1,201,120		
ソフトウェア+その他	¥ 31,418,391	¥ 1,846,773	¥ 1,607,409	¥ 1,447,083	¥ 2,801,120		
OS	¥ 11,157,772	¥ 667,798	¥ 646,020	¥ 547,905	¥ 1,001,120		
ソフトウェア	¥ 20,260,619	¥ 1,178,975	¥ 961,389	¥ 899,178	¥ 1,801,120		

行エッジ	レポートの行データが表示されている部分
列エッジ	レポートの列データが表示されている部分
ページエッジ	レポートのページデータが表示されている部分
データセル	レポートのデータ部分

行エッジ、列エッジ、ページエッジ内に配置されているレポートの分析項目のことを「ディメンション」ディメンションの中の値を「メンバー」、データセルに入っている数値のことを「メジャー」といいます。

1.2.4 使用できない文字列

OpenOLAP Viewer のレポート名、フォルダ名、セクタの検索文字列には以下の 6 種類の文字列を入力することはできません。入力すると、記号と丸囲み文字以外はエラーメッセージが表示され、記号と丸囲み文字は登録後再表示すると文字化けします。

記号、(例：～、♪など) 丸囲み文字 (例：①、②など)、「<」、「>」、「&」、「」

起動と終了

OpenOLAP Viewer の起動と終了の方法を説明します。

この章は以下の通り構成されています。

- [OpenOLAP Viewer へのログイン](#)
- [OpenOLAP Viewer からのログアウト](#)

2.1 OpenOLAP Viewer へのログイン

OpenOLAP Viewer にログインするために、事前に次の情報を確認しておきます。

- ・ 管理者のユーザー名とパスワード
- ・ OpenOLAP Viewer の URL

1. インターネットブラウザを起動します。
2. OpenOLAP Viewer ログイン画面の URL を指定します。



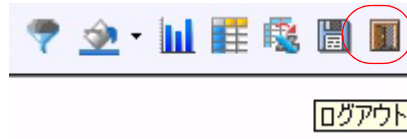
3. ユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。OpenOLAP Viewer が起動し、ホーム画面が表示されます。

ユーザー名:	<input type="text" value="admin"/>
パスワード:	<input type="password" value="*****"/>
<div><div>Login</div><div>Reset</div></div>	

メモ: [Reset] ボタンをクリックすると、ユーザー名とパスワードがクリアされます。

2.2 OpenOLAP Viewer からのログアウト

OpenOLAP Viewer からログアウトするには、ツールバーの [ログアウト] ボタンをクリックします。



また、何も操作しないまま管理者の設定するアイドル時間を過ぎると、ログイン画面に自動的に遷移します。

レポートの作成

この章では OpenOLAP Viewer を使用したレポートの作成方法をステップを追って説明します。

この章は以下のとおり構成されています。

- [レポート作成ウィザード](#)
- [ステップ 1 : キューブの指定](#)
- [ステップ 2 : レポートの設定](#)
- [ステップ 3 : レポート名、フォルダの指定](#)
- [レポート内容の変更](#)

3.1 レポート作成ウィザード

OpenOLAP Viewer では、3つのステップでレポートを作成します。

[ステップ1：キューブの指定](#)

[ステップ2：レポートの設定](#)

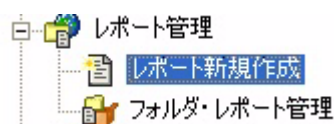
[ステップ3：レポート名、フォルダの指定](#)

次の項からはステップごとにご説明します。

3.2 ステップ1：キューブの指定

レポートで表示するデータが格納されているキューブを選択します。

1. ツリー画面から［レポート管理］－［レポート新規作成］を選択して［レポート作成－キューブ選択（1/3）］画面を表示します。



2. [キューブ] リストボックスから、レポートで使用するキューブをクリックします。

レポート作成 - キューブ選択(1/3)			
キューブ	件数	更新日時	
売上キューブ	465760	2004/09/21 20:51:03	
売上キューブ(製品カスタム)	480315	2004/09/24 11:26:18	
売上キューブ(過去3年)	465760	2004/09/24 11:28:01	
売上キューブ(カスタム)	465760	2004/09/24 11:30:59	
売上キューブ2	465760	2004/09/24 11:46:38	
売上キューブ(製品のみ)	32	2004/09/24 11:48:09	
売上キューブ(製品、時間のみ)	1312	2004/09/24 11:49:09	

3. [キューブのプロパティ] ボックスに選択されたキューブの情報が表示されます。

キューブ	件数	更新日時
売上キューブ	465760	2004/09/21 20:51:03
売上キューブ(製品がXタイム)	480315	2004/09/24 11:26:18
売上キューブ(過去3年)	465760	2004/09/24 11:28:01
売上キューブ(カスタム)	465760	2004/09/24 11:30:59
売上キューブ2	465760	2004/09/24 11:46:38
売上キューブ(製品のみ)	32	2004/09/24 11:48:09
売上キューブ(製品、時間のみ)	1312	2004/09/24 11:49:09

キューブのプロパティ

キューブID: 1
 キューブ名: 売上キューブ
 説明:
 キューブタイプ: メタ通りのキューブ
 件数: 465760 (データ密度:105%)
 キューブ最終更新日時: 2004/09/21 20:51:03

ディメンジョンリスト

1. 年月
ディメンジョンID: 3
説明:
レベル数: 4
2. 製品
ディメンジョンID: 1
説明:
レベル数: 4

メジャーリスト

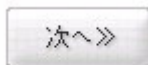
売上金額
メジャーID: 1
説明:

コスト
メジャーID: 2
説明:

項目名	入力内容
キューブ ID	キューブ ID が表示されます。
キューブ名	キューブ名が表示されます。
説明	OpenOLAP Designer の [キューブ登録 / 情報] 画面に登録された [コメント] が表示されます。
キューブタイプ	<p>キューブのタイプが表示されます。</p> <p>[メタ通りのキューブ] OpenOLAP のメタデータと一致するキューブ</p> <p>[メタとは異なるキューブ] OpenOLAP のメタデータと異なるキューブ (キューブ生成後、OpenOLAP Designer で定義が変更されたキューブ)</p> <p>[カスタマイズキューブ] OpenOLAP Designer の [SQL チューニング] 画面で SQL のカスタマイズがされているキューブ</p>
件数	<p>キューブのデータ件数とデータ密度が表示されます。</p> <p>* カスタマイズキューブの場合はデータ密度は表示されません。</p>
キューブ最終更新日	キューブデータの最終更新日が表示されます。

項目名		入力内容
ディメンションリスト	名称	キューブ内でのディメンションの番号とディメンションの名称が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	ディメンション ID	ディメンション ID が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	説明	OpenOLAP Designer の [ディメンション登録 / 情報] 画面に登録された [コメント] が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	レベル数	ディメンションのレベル数が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
メジャーリスト	名称	キューブ内でのメジャーの番号とメジャーの名称が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	メジャー ID	メジャー ID が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	説明	OpenOLAP Designer の [メジャー登録 / 情報] 画面に登録された [コメント] が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	タイプ	カスタムメジャーの場合、カスタムメジャーのタイプが表示されます。 [実データ形式] カスタムメジャー計算後の値をメタデータに格納している場合、表示されます。 [フォーミュラ形式] カスタムメジャーの計算式のみをメタデータに保持している場合、表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。

4. [次へ] ボタンをクリックします。[レポート作成－レポート設定 (2/3)] 画面が表示されます。



3.3 ステップ2：レポートの設定

レポートのレイアウト指定（行エッジ、列エッジ、ページエッジの配置）や、値の絞込み、セルの塗りつぶし指定、グラフ表示の指定などを行います。

1. 初期表示ではレポートは次のとおり表示されます。
 - ・ 列エッジ、行エッジに1つずつディメンションが配置される。残りのディメンションはページエッジに表示される。
 - ・ メジャーはページエッジの一番最後に配置される。
 - ・ 各ディメンション / メジャーのデフォルトメンバー（ページエッジに配置したときの「スライサー」ボタンで表示されるメンバー）は、ディメンション / メジャーのメンバーリストの先頭となる。このときディメンションが「合計」を持つ場合は、「合計」がデフォルトメンバーとなる。
 - ・ 各ディメンションのドリル状態はレベル1のメンバーが展開されている状態（レベル1とレベル2が表示されている状態）となる。

スライサーボタン (ディメンション) →

スライサーボタン (メジャー) →

		年月	
		02年度	04月
製品	製品 合計	¥ 357,633,646	¥ 22,725,933
ハードウェア	ハードウェア	¥ 326,215,255	¥ 20,879,160

- ・ ディメンションが1つしか存在しない場合には、列エッジにディメンション、行エッジにメジャーが配置される。


（ディメンションがメジャー挿入エリア）

		製品
メジャー	製品 合計	¥ 1,596,209,893
売上金額	売上金額	¥ 1,441,469,800
コスト	コスト	¥ 1,441,469,800

- ・ ディメンションが2つしか存在しない場合は、列エッジ、行エッジにそれぞれディメンションが配置され、ページエッジにメジャーが配置される。

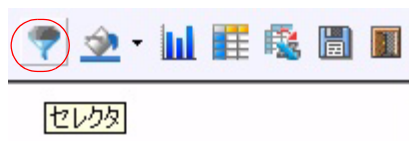
売上金額

		年月	
		02年度	04月
製品	製品 合計	¥ 475,140,073	¥
ハードウェア	ハードウェア	¥ 443,721,682	¥
ハードウェア以外の	ハードウェア以外の	¥ 31,418,391	¥

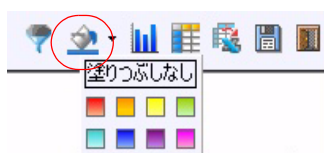
2. 列エッジ、行エッジ、ページエッジの配置を変更するには、移動したいディメンションまたはメジャーの「移動」アイコン  をクリックして、移動させたい位置へドラッグ&ドロップします。詳細については、『OpenOLAP ユーザーマニュアル』の『3.2 ディメンションの操作』を参照してください。
3. 列エッジ、行エッジのドリル状態を変更するには、「+」ボタンをクリックして展開したり、「-」ボタンをクリックして、折り畳みをする

ことにより行います。詳細については、『OpenOLAP ユーザーマニュアル』の『3.3 ドリル操作』を参照してください。

4. 値の絞込みを行う場合は、ツールバーの[セクタ] ボタンをクリックして、[セクタ] 画面を表示し、値を絞り込みます。詳細については、『OpenOLAP ユーザーマニュアル』の『3.4 セクタの利用』を参照してください。



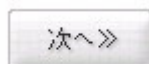
5. セルの塗りつぶしやハイライト設定を行う場合は、ツールバーの[カラー選択] ボタンをクリックします。詳細については、『OpenOLAP ユーザーマニュアル』の『3.5 データセルの色設定』を参照してください。



6. グラフ表示をする場合は、ツールバーの[画面表示] ボタンをクリックします。詳細については、『OpenOLAP ユーザーマニュアル』の『3.7 グラフの表示』を参照してください。



7. [次へ] ボタンをクリックします。[レポート作成－保存 (3/3)] 画面が表示されます。



メモ： レポートに表示するキューブを変更したい場合は、[戻る] ボタンをクリックして、キューブを選択しなおしてください。

3.4 ステップ3：レポート名、フォルダの指定

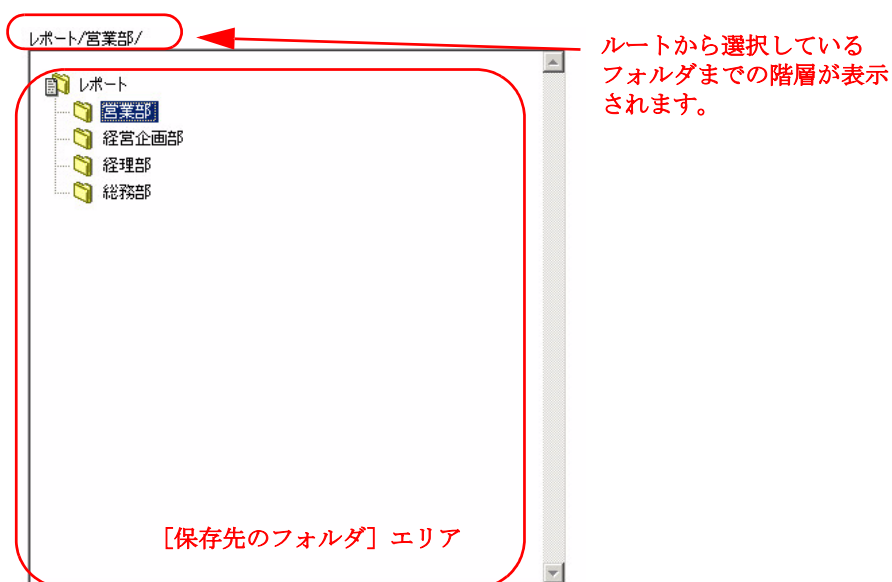
レポートの格納先フォルダとレポート名を指定します。

1. [レポート名] ボックスにレポート名を入力します（最大桁数 30 文字）。

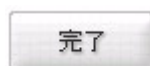
レポート名: 売上分析

メモ： 既存レポートと名前が重複しても問題はありません。

2. [保存先のフォルダ] エリアからレポートを格納したいフォルダを選択します。



3. [完了] ボタンをクリックします。



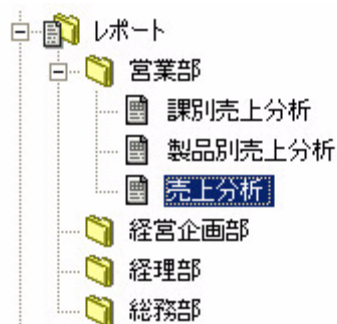
メモ： ツリー画面に作成したレポートのレポートアイコンが追加されます。



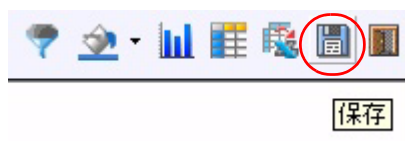
3.5 レポート内容の変更

作成済みのレポートは、レポート参照画面で設定を変更した後、[保存] ボタンで保存することができます。

1. ツリー画面で参照したいレポートをクリックします。サブ画面に選択したレポートが表示されます。



2. 以下、新規作成時と同様の操作でレイアウトやセルの塗りつぶし設定、セレクトタ設定、グラフの設定を変更します。以降の操作の詳細については、『[3.3 ステップ 2：レポートの設定](#)』を参照してください。
3. [保存] ボタンをクリックします。



注記： 管理者は個人レポートの保存はできません。個人レポートの保存ができるのは、一般ユーザーのみです。

フォルダ・レポートの管理

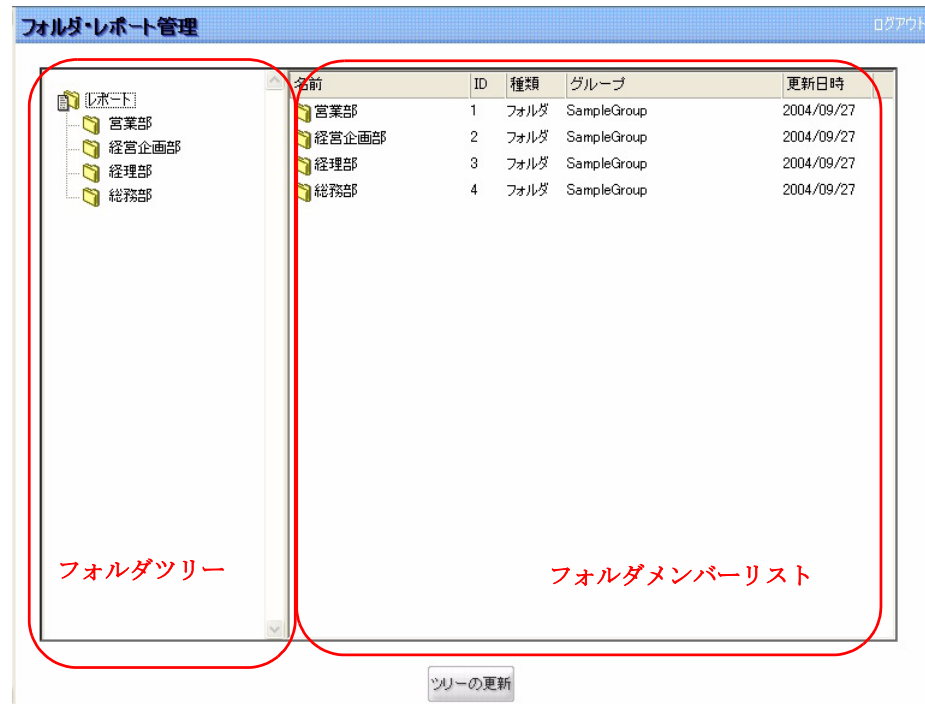
レポート検索を効率的にするフォルダを作成したり、レポートをフォルダに割り当て直すなど、エクスプローラ風の操作でフォルダとレポートを管理することができます。この章では、フォルダとレポートの管理方法についてご説明します。

この章は、以下のとおり構成されています。

- ・ [フォルダの管理](#)
- ・ [レポートの管理](#)

4.1 フォルダ・レポート管理の画面構成

[フォルダ・レポート管理] 画面の各個所の名称は以下のとおりです。



フォルダツリー

フォルダを表示します。

フォルダメンバーリスト

フォルダツリーで選択されているフォルダに所属するフォルダおよびレポートを表示します。

フォルダメンバーリスト

項目	説明
名前	フォルダ、レポートの名前を表示します。
ID	フォルダ、レポートの ID を表示します。
種類	フォルダ、レポートのどちらかを表示します。
グループ	フォルダ、レポートを参照できるグループを表示します。
更新日時	最終更新日時を表示します。

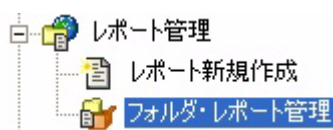
4.2 フォルダの管理

ツリー画面に表示されるフォルダの作成、名前の変更、移動、削除を行うことができます。

4.2.1 フォルダの作成

新しいフォルダを作成することができます。

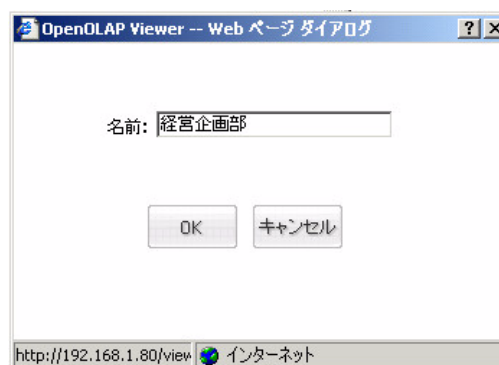
1. ツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して [フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



2. 新しいフォルダを所属させることになる親フォルダをフォルダツリー上でクリックしてから、フォルダメンバーリストの空白部分で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[追加] をクリックします。



3. ダイアログボックスが表示されるので、[名前] ボックスにフォルダの名称を入力して、[OK] ボタンをクリックします。(最大桁数：30 文字)



メモ： 既存フォルダと名前が重複しても問題はありません。

4. 親フォルダ内の一番下にフォルダが作成されます。

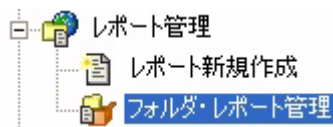
注記： フォルダは 15 レベルまで作成できます。

5. [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面に作成フォルダを反映させます。

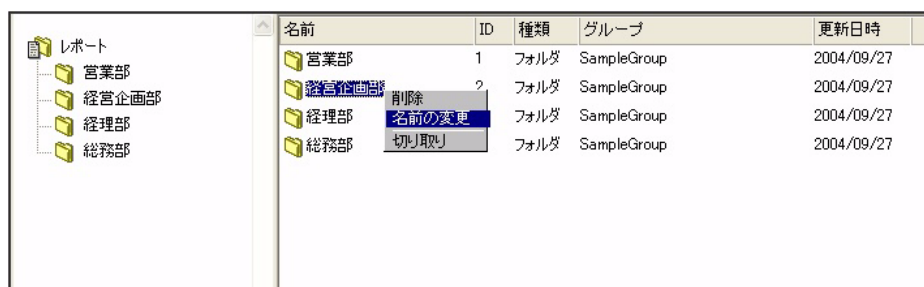
4.2.2 フォルダ名の変更

作成済みのフォルダのフォルダ名を変更することができます。

1. ツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して [フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



2. 名前を変更したいフォルダをフォルダメンバーリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[名前の変更] をクリックします。



3. ダイアログボックスが表示されるので、[名前] ボックスに変更後のフォルダ名を入力して、[OK] ボタンをクリックします。(最大桁数：30 文字)

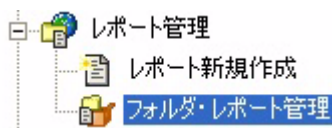


4. [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面にフォルダ名の変更を反映させます。

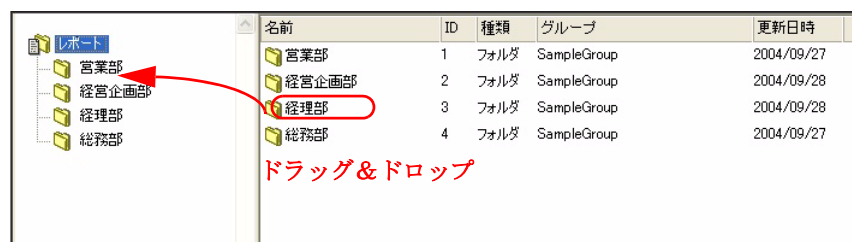
4.2.3 フォルダの移動

作成済みのフォルダをツリー上の他の場所へ移動することができます。配下のフォルダまたはレポートもフォルダと一緒に移動されます。

1. ツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して [フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



2. 移動させたいフォルダをクリックして、移動先のフォルダへドラッグ&ドロップします。



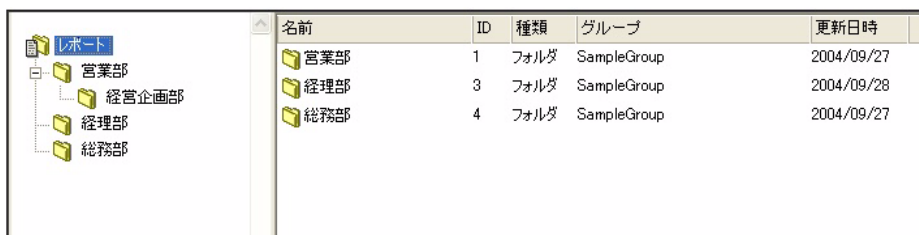
メモ： フォルダの移動

①フォルダを複数選択して移動させることもできます。

②以下の操作はいずれも可能です。

- ・フォルダツリーからフォルダツリーへ移動
- ・フォルダツリーからフォルダメンバー一覧へ移動
- ・フォルダメンバー一覧からフォルダツリーへ移動
- ・フォルダメンバー一覧からフォルダメンバー一覧へ移動

3. フォルダが移動します。

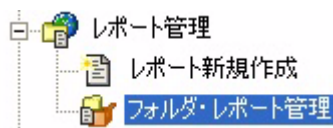


4. [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面にツリー構成を反映させます。

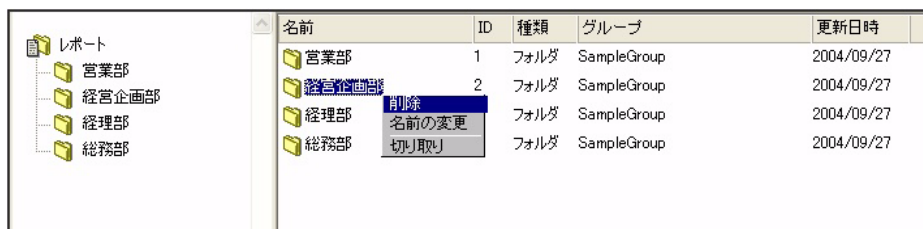
4.2.4 フォルダの削除

作成済みのフォルダを削除することができます。配下のフォルダまたはレポートも同時に削除されます。

1. ツリー画面から「レポート管理」－「フォルダ・レポート管理」を選択して「フォルダ・レポート管理」画面を表示します。



2. 削除したいフォルダをフォルダメンバーリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、「削除」をクリックします。



3. フォルダが削除されます。

注記： フォルダ内にレポートまたはフォルダが格納されている場合は同時に削除され、この削除を取り消すことはできません。フォルダ内に必要なレポートが残っていないか十分に確認をしてからフォルダを削除してください。

4. 「ツリーの更新」ボタンをクリックして、ツリー画面にフォルダの削除を反映させます。

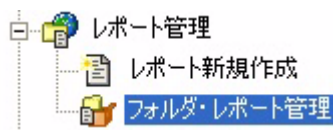
4.3 レポートの管理

レポート名の変更、移動、削除を行うことができます。

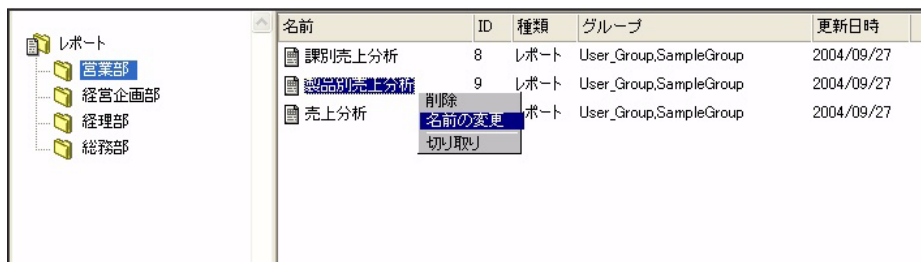
4.3.1 レポート名の変更

作成済みのレポートのレポート名を変更することができます。

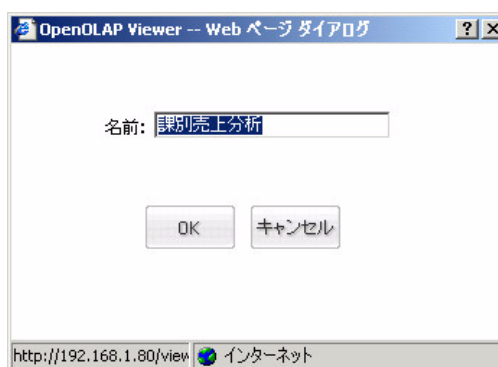
1. ツリー画面から「レポート管理」－「フォルダ・レポート管理」を選択して「フォルダ・レポート管理」画面を表示します。



- 名前を変更したいレポートを右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[名前の変更] をクリックします。



- ダイアログボックスが表示されるので、[名前] ボックスに新しいレポート名を入力して [OK] ボタンをクリックします（最大桁数 30 文字）。

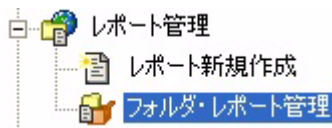


- [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面にレポート名の変更を反映させます。

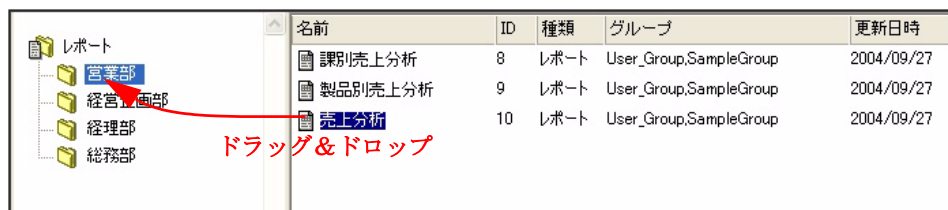
4.3.2 レポートの移動

作成済みのレポートをツリー上の他のフォルダへ移動することができます。

- ツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して [フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



2. 移動させたいレポートをクリックして、移動先のフォルダへドラッグ＆ドロップします。



メモ： レポートの移動

①レポートを複数選択して移動させることもできます。

②以下の移動操作はいずれも可能です。

- ・フォルダメンバー一覧からフォルダツリーへ移動
- ・フォルダメンバー一覧からフォルダメンバー一覧へ移動

3. レポートが移動します。

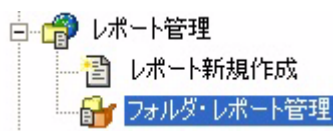


4. [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面にツリー構成を反映させます。

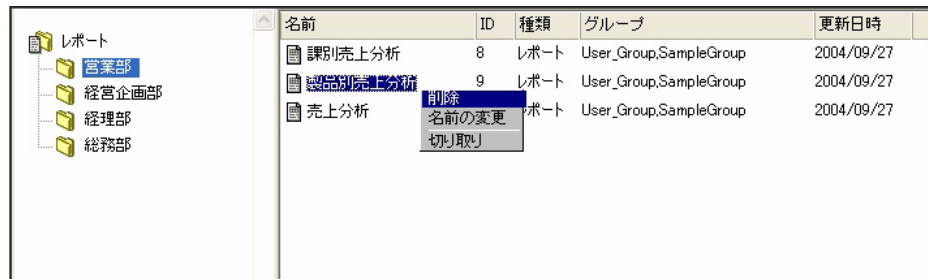
4.3.3 レポートの削除

作成済みのレポートを削除することができます。

1. ツリー画面から[レポート管理] - [フォルダ・レポート管理]を選択して[フォルダ・レポート管理]画面を表示します。



2. 削除したいレポートを右クリックしてポップアップメニューを表示させ、ポップアップメニューで「削除」をクリックします。



3. レポートが削除されます。
4. 「ツリーの更新」 ボタンをクリックして、ツリー画面にレポートの削除を反映させます。

ユーザー、グループの管理

OpenOLAP Viewer を使用するユーザーやグループを作成することができます。ユーザーおよびグループにはレポートの参照権限やエクスポート形式を個別に指定することができ、ユーザーをグループに所属させて一元管理することもできます。この章では、ユーザーとグループの管理方法についてご説明します。

この章は、以下のとおり構成されています。

- ・ [ユーザーの管理](#)
- ・ [グループの管理](#)

5.1 ユーザーの管理

OpenOLAP Viewer を使用するユーザーの作成、変更、削除を行うことができます。

5.1.1 ユーザーの種類

OpenOLAP Viewer では「管理者」、「一般ユーザー」、「ゲスト」の3つの「ユーザーの種類」があります。それぞれのユーザーの種類の特性は次の通りです。

	管理者	一般ユーザー	ゲスト
ユーザー、グループの作成	○		
グループの権限設定	○		
共通レポート、共通フォルダの作成	○		
共通レポートの参照	○	○	○
個人レポート、共通フォルダの作成		○	
グループへの所属		○	○

初期設定では、“admin”（管理者）、“user”（一般ユーザー）、“guest”（ゲスト）の3ユーザーが登録されており、user と guest は “User_Group” グループに属しています。

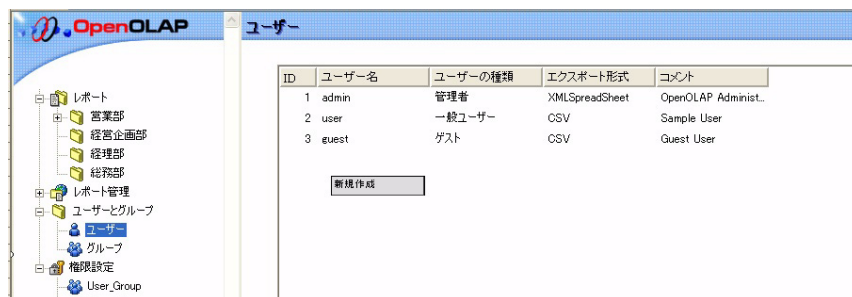
5.1.2 ユーザーの作成

新しいユーザーを作成します。

1. ツリー画面から「ユーザーとグループ」－「ユーザー」を選択して「ユーザー」画面を表示します。



2. ユーザーリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、「新規作成」をクリックします。



3. [ユーザー情報] 画面が表示されるので、以下の情報を入力します。

項目名	入力内容
ユーザー名	ユーザー名を入力します。(最大桁数：30)
パスワード	パスワードを入力します。(最大桁数：30)
ユーザーの種類	ユーザーの種類を選択します。 ユーザーの種類については、『 5.1.1 ユーザーの種類 』を参照してください。
エクスポート形式	レポートをエクスポートする際の形式を選択します。 [XMLSpreadSheet] レポートを XMLSpreadSheet 形式でエクスポートします。レポートに色設定がされている場合、色設定もデータとあわせて出力することができます。 * ハイライト設定は出力することができません。 [CSV] レポートを CSV 形式でエクスポートします。
コメント	ユーザーに対するコメントを入力します。(最大桁数：250)
利用可能グループ、選択グループ	[利用可能グループ] から、ユーザーが属するグループを選択します。 [追加 >>] ボタン [利用可能グループ] から [選択グループ] にグループが移動します。 [<< 削除] ボタン [選択グループ] から [利用可能グループ] にグループが戻ります。

注記： [選択グループ] でグループが1つも選択されていない場合は、ユーザーはレポートを一切参照することができなくなります。レポートを参照させたい場合は、1つ以上のグループを選択してください。

- [新規作成] ボタンをクリックして、ユーザー情報を保存します。
- ユーザーリストに作成したユーザーが追加されます。
- [OK] ボタンをクリックして、ユーザーの追加を確定させます。

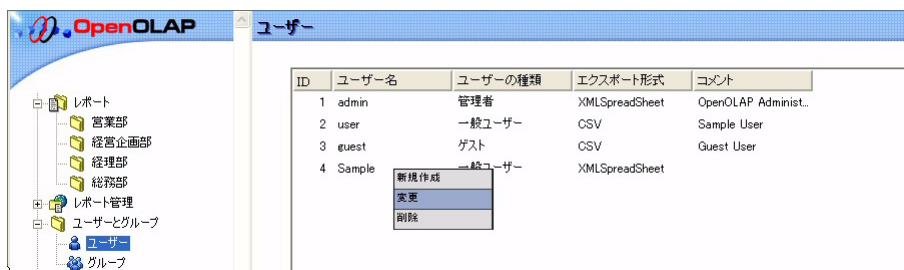
5.1.3 ユーザー情報の変更

作成済みのユーザーの情報を変更することができます。

1. ツリー画面から「ユーザーとグループ」－「ユーザー」を選択して「ユーザー」画面を表示します。



2. ユーザー情報を変更したいユーザーをユーザーリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、「変更」をクリックします。またはユーザーリスト上でユーザーをダブルクリックします。



3. 「ユーザー情報」画面が表示されるので、項目を編集します。



注記：「ID」は編集できません。

注記：「ユーザーの種類」が「管理者」の場合、「ユーザーの種類」を変更することはできません。

4. 「更新」ボタンをクリックして、ユーザー情報を保存します。
5. 「OK」ボタンをクリックして、変更したユーザー情報を確定させます。

5.1.4 ユーザーの削除

作成済みのユーザーを削除することができます。

1. ツリー画面から「ユーザーとグループ」－「ユーザー」を選択して「ユーザー」画面を表示します。



2. 削除したいユーザーをユーザーリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、「削除」をクリックします。



3. ユーザーリスト上からユーザーが削除されます。
4. [OK] ボタンをクリックして、ユーザーの削除を確定させます。

5.2 グループの管理

グループの作成、変更、削除を行うことができます。初期設定では“User_Group”グループが登録されています。

5.2.1 グループの作成

新しいグループを作成することができます。

1. ツリー画面から「ユーザーとグループ」－「グループ」を選択して「グループ」画面を表示します。



2. グループリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[新規作成]をクリックします。



3. [グループ情報] 画面が表示されるので、以下の情報を入力します。

項目名	入力内容
グループ名	グループ名を入力します。(最大桁数：30)
コメント	ユーザーに対するコメントを入力します。(最大桁数：250)
利用可能ユーザー、選択ユーザー	<p>[利用可能ユーザー] から、グループに所属させるユーザーを選択します。</p> <p>[追加 >>] ボタン [利用可能ユーザー] から [選択ユーザー] にユーザーが移動します。</p> <p>[<< 削除] ボタン [選択ユーザー] から [利用可能ユーザー] にユーザーが戻ります。</p>

4. [新規作成] ボタンをクリックして、グループ情報を保存します。
5. グループリストに作成したグループが追加されます。
6. [OK] ボタンをクリックして、グループの追加を確定させます。

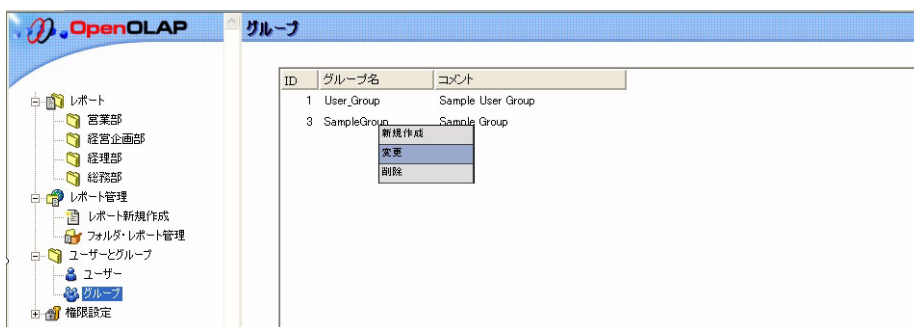
5.2.2 グループ情報の変更

作成済みのグループの情報を変更することができます。

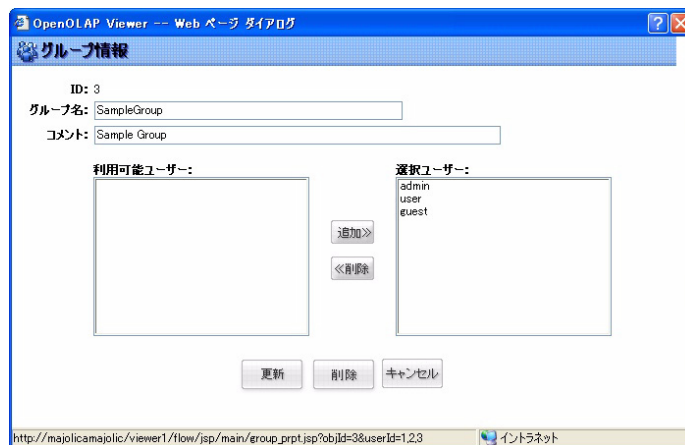
1. ツリー画面から「ユーザーとグループ」－「グループ」を選択して「グループ」画面を表示します。



2. グループ情報を変更したいグループをグループリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、「変更」をクリックします。またはグループリスト上でグループをダブルクリックします。



3. 「グループ情報」画面が表示されるので、項目を編集します。



注記：「ID」は編集できません。

注記：「選択ユーザー」から削除されたユーザーがどのグループにも属さなくなる場合、そのユーザーはレポートを一切参照できなくなります。レポートを参照させたい場合は、ユーザーを他のグループへ追加する必要があります。

4. 「更新」ボタンをクリックして、グループ情報を保存します。
5. 「OK」ボタンをクリックして、変更したグループ情報を確定させます。

5.2.3 グループの削除

作成済みのグループを削除することができます。

1. ツリー画面から「ユーザーとグループ」－「グループ」を選択して「グループ」画面を表示します。



2. 削除したいグループをグループリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、「削除」をクリックします。



3. グループリスト上からグループが削除されます。
4. [OK] ボタンをクリックして、グループの削除を確定させます。

注記： このグループに属していたユーザーが他のどのグループにも属さなくなる場合、そのユーザーはレポートを一切参照できなくなります。レポートを参照させたい場合は、ユーザーを他のグループへ追加する必要があります。

権限設定

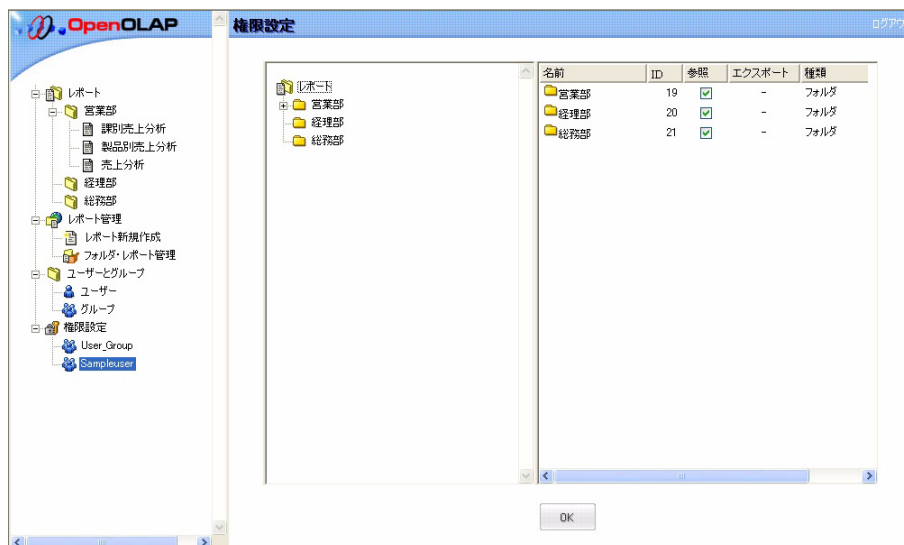
OpenOLAP Viewer のグループに対して、レポートの参照権限やエクスポート権限を付与して一元管理することができます。この章では、権限の設定方法についてご説明します。

この章は、以下のとおり構成されています。

- ・ [権限の設定](#)

6.1 権限の設定

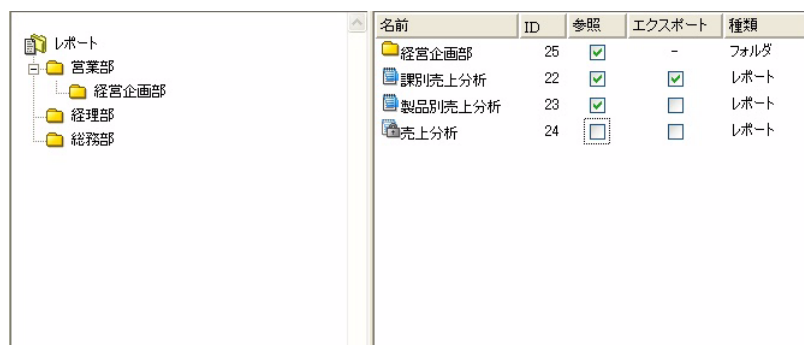
グループに対して、レポートごとにレポート参照権限、エクスポート権限を設定することができます。



1. ツリー画面から「権限設定」－「[(権限を設定したいグループ)]」を選択して「権限設定」画面を表示します。



2. レポートリスト上で各フォルダおよびレポートの権限を設定します。



項目名	入力内容
参照 ・ フォルダ ・ レポート	フォルダおよびレポートの参照権限を設定します。 [チェック On] フォルダ、レポートを参照可能とします。 [チェック Off] フォルダ、レポートを参照不可とします。
エクスポート ・ レポート	レポートのエクスポート権限を設定します。 フォルダでは設定できません。 [チェック On] レポートのエクスポートを可能とします。 [チェック Off] レポートのエクスポートを不可とします。

3. [OK] ボタンをクリックして、権限設定を確定させます。

